

◆【全国発信記事】新潟支部

新潟県立海洋高等学校で漁業ガイダンスを開催

■新潟県立海洋高等学校■

10月25日、新潟県立海洋高等学校において本科1年生18人を対象に、全日本海員組合、日本かつお・まぐろ漁業協同組合、全国漁業就業者確保育成センターと合同で企画した漁業ガイダンスを開催し、船員職業と漁船漁業の魅力を伝えた。

実施した漁業ガイダンスの内容は、遠洋・沖合・沿岸漁業のあらましや、漁業種ごとに違う、漁船の船内生活・航海日数・賃金などについて詳細を説明した。

参加者の中には、高校卒業後に漁船に乗りたいと希望している生徒たちもいて、興味深く漁業ガイダンスの話聞いていた。

最後に生徒たちにアンケートを行い、その中のひとつに「漁船では休みがあまりなく大変な仕事だと感じたが、やりがいがある仕事で頑張れば頑張った分だけ給与が上がることも参考になった」とあり、ぜひとも、卒業後には船員職業を選択してほしいと激励し、漁業ガイダンスを終了した。

新潟県立海洋高等学校の校訓は、

校 訓 = 質実剛健・進取力行・水産報国

▽質実剛健 = 飾り気がなくまじめで、心やからだが強たくたくましいこと

▽進取力行 = みずから進んで積極的に新しい事をなし、精一杯努力して取り組むこと

▽水産報国 = 水産・海洋関連の仕事を通じ、我が国及び国際社会に貢献すること

この校訓を基礎に「人間として調和のとれた育成をめざし、一般的な教養を高め個性を生かす教育の充実に努め、社会の変化に主体的に対応できる能力を育て、正しい職業観、勤労観を育成する」という教育目標を掲げている。

世界の海へ卒業生を輩出している新潟県立海洋高等学校の歴史は古く、明治31年に地元の尋常高等小学校で「水産」授業が開始されたことに遡る。

その後、明治32年に「能生町立水産補習学校」として開校、平成5年に「能生水産高等学校」から「新潟県立海洋高等学校」へ校名を改称した。

本校生徒は水産科として入学して広く水産・海洋に関する学習をした後、2年生から水産資源科（資源育成コース・食品科学コース）、海洋開発科（海洋技術コース・海洋創造コース）の2学科・4コースで高度な学習を受ける。

新潟県立海洋高等学校実習船 海洋丸

学習環境では、実習船「海洋丸」「くびき」、潜水プール棟、臨海栽培実習棟、食品科学実習棟、海洋工学実習棟など国内屈指の恵まれた施設・設備を有し、タブレット端末を活用して情報化社会にかなうICT教育にも力を入れている。これらの教育環境を活用した専門教育は、地域はもとより全国でも先進的な水産・海洋教育の拠点としての役割を果たしている。

「海員だより」